

第57回 ふじみ衛生組合地元協議会 会議録

- 1 開催日時 平成31年2月12日(月)18時30分から20時00分まで
- 2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 3 委員出欠 出席 20人(欠席者8人)
出席委員 佐々木善信(会長)、小林義明(副会長)、浅野秀美、小松日出雄、
宍戸良雄、島田猛、武谷宏二、田中一枝、戸田朝子、増田雅則、
矢田部正丈、山添登、山田攻
荻原正樹(副会長)、上野洋樹、大野憲一、岡田賢一郎、星野巖雄、
宮崎治
(名前の表示は、正副会長を除き、選出区分別50音順)
事務局 今村好一、岩崎誠、大堀和彦、篁健二
エコサービスふじみ株式会社 久保寺高広
パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉留雅俊

4 次第

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 第56回ふじみ衛生組合地元協議会議事録要旨について
 - (2) 施設の運転結果について
 - ① ごみ搬入・灰等搬出(平成30年4月～平成30年12月)について
 - ② 環境測定(平成30年4月～平成30年12月)について
 - (3) 第6回ふじみまつり報告について
 - (4) リサイクルセンターの更新に向けた課題について
 - (5) 小金井市の可燃ごみ処理支援について(お願い)
 - (6) 第56回地元協議会傍聴者意見書について
- 3 協議事項
 - (1) 平成31年6月(予定)施設見学候補地について(案)
- 4 その他
 - (1) 次回日程(平成31年3月11日(月曜日))
 - (2) その他
- 5 閉会

配布資料

- 【資料1】 第56回ふじみ衛生組合地元協議会議事録(要旨)
- 【資料2】 ごみ搬入・灰等搬出結果(平成30年4月～平成30年12月)
- 【資料3】 平成30年度の環境測定結果(平成30年4月～平成30年12月)
- 【資料4】 第6回ふじみまつり報告書
- 【資料5】 リサイクルセンター更新に向けた課題
- 【資料6】 小金井市の可燃ごみ処理支援について(お願い)
- 【資料7】 平成31年6月(予定)施設見学候補地(案)
- 【資料8】 第56回地元協議会傍聴者意見書

第57回ふじみ衛生組合地元協議会

平成31年 2月12日

【 事 務 局 】

それでは、定刻になりましたので、第57回ふじみ衛生組合地元協議会を開催いたします。皆様には、お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

本日の資料でございますが、次第にあります資料番号のとおり、事前に配付させていただきました。資料はおそろいでしょうか。よろしいですか。

なお、資料8、第56回地元協議会傍聴者意見書につきましては、後ほどごらんいただくようお願いします。また、本日、机の上に配付した「三調めのエントツくん クリーンプラザふじみ両市民交流を更に進める為の企画提案」は、会長から提案をいただいたものです。後ほど説明をお願いする予定ですので、よろしくをお願いします。

なお、傍聴の方については受付でお渡しした資料の最終ページにとじてございます。

それでは、今後の議事進行は会長にお願いします。よろしくお願いたします。

【 会 長 】

皆さん、こんばんは。ここから私のほうで進行させていただきます。

本日は、出席委員、合計で20名出席いただきましたので、会議は成立いたします。

それでは、報告事項に入らせていただきます。次第に従いまして、報告事項1番目の、第56回ふじみ衛生組合議事録要旨について、事前に確認されているかと思いますが、ご質問、ご不明な点がございましたら挙手願います。

特にないようでしたら、事務局から公開の手続きでよろしいですか。

それではお願いいたします。

次に報告事項の2番目、施設の運転結果について、ごみ等の搬入、搬出について、A委員からお願いいたします。

【 A 委 員 】

それでは、お手元の資料15ページの資料2をお願いいたします。

平成30年度4月から12月までの、クリーンプラザふじみにおけるごみ処理実績につきましてご報告いたします。

上のグラフをごらんください。初めに可燃ごみの搬入実績でございます。上のグラフの右下に記載のとおり、平成30年度4月から12月までの三鷹市の可燃ごみの搬入量は、2万1,878.30トンとなり、前年度比で107.45トン、約0.5%の増。調布市の可燃ごみの搬入量は2万5,923.13トンとなり、前年度比で97.18トン、約0.4%の増となりました。また、リサイクルセンター

で発生した可燃性残渣の、クリーンプラザふじみへの搬入量は5,522.71トンとなり、前年度比で34.30トン、約0.6%の減となりました。

次に、小金井市からの搬入量は2,256.39トンとなりました。なお、小金井市からの搬入は、平成29年度4月分から開始され、年間3,500トンを上限として受け入れを行っております。

以上の結果、平成30年度4月から12月までの可燃ごみの搬入量は、5万5,580.53トンとなり、前年度比で283.19トン、約0.5%の増となり、ほぼ前年度並みの搬入量となりました。

なお、小金井市分の搬入量を除きますと、170.33トン、約0.3%の増となり、小金井市分を除く可燃ごみの搬入量におきましても、前年度比でほぼ横ばいとなっています。

次に下のグラフをごらんください。クリーンプラザふじみの搬出実績及び発電量・売電量についてご報告いたします。下のグラフの右下に記載のとおり、平成30年度4月から12月までの焼却灰の搬出量は4,341.94トンとなり、前年度比で168.24トンの増。飛灰の搬出量は1,526.17トンとなり、前年度比で90.93トンの増。鉄分の搬出量は147.89トンとなり、前年度比で3.42トンの増。焼却量は5万3,007.66トンとなり、前年度比で1,868.57トンの増となりました。

このうち焼却灰、飛灰及び鉄分の搬出量合計では、前年度比で262.59トン、約4.6%の増となり、前年度比ではほぼ横ばいとなっております。また、発電量は2万8,787.80MWhとなり、前年度比で1,944.34MWhの増。売電量は2万824.40MWhとなり、前年度比で1,271.66MWhの増となりました。

なお、下のグラフにおきまして、焼却量並びに発電量、及び売電量のグラフが下落しておりますのは、2炉あります焼却炉の法定点検により、2炉ないしは1炉を停止したことによるものでございます。

続きまして16ページをお願いいたします。平成30年度4月から12月までの、リサイクルセンターにおける不燃ごみ等のごみ処理実績につきましてご報告いたします。

一番上のグラフが三鷹市の不燃ごみ等の搬入実績でございます。そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で6,796.66トンとなり、前年度比で17.80トン、約0.3%の増となりました。

真ん中のグラフが、調布市の不燃ごみ等の搬入実績でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で6,904.68トンとなり、158.61トン、約2.4%の増となりました。

一番下のグラフが、両市の不燃ごみ等の搬入量の合計でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で1万3,701.34トンとなり、前年度比で176.41トン、約1.3%の増となりました。

以上のとおり、平成30年度4月から12月までにおける両市の不燃ごみ等の搬入量の実績といたしましては、前年度比でほぼ横ばいとなりました。

個々の搬入量の実績のうち、主なものとしたしましては、三鷹市の不燃ごみの搬入量が前年度比で45.44トン、約3.7%の減となりましたが、三鷹市の不燃ごみにつきましては、ここ数年緩やかな減少が続いています。また、ペットボトルの搬入量が前年度比で38.68トン、約7.2%の増となりましたが、この夏の気候が影響しているものと思われます。

調布市におきましては、三鷹市同様、ペットボトルの搬入量が前年度比で31.69トン、約4.4%の増となりました。また、粗大ごみの搬入量が前年度比で33.55トン、約13.7%の増となりました。

続きまして17ページをお願いいたします。平成30年度4月から12月までの、リサイクルセンターにおける資源物搬出及び熱回収搬出につきましてご報告いたします。上のグラフが有償・無償の資源物の搬出状況でございます。上のグラフの右に記載のとおり、資源物の搬出量の合計では7,223.29トンとなり、前年度比で170.35トン、約2.4%の増となりました。

個々の資源物の搬出のうち主なものとしたしましては、右側から3つ目の容リ・プラスチックの搬出量が前年度比で103.88トン、約3.3%の増となりました。これは、この間の両市のプラスチックの搬入量の増加率が約2.1%の増であることを考慮しますと、リサイクルセンターにおける容器包装プラスチックの抽出が順調に行われた結果であると考えております。また、その右の容リ・ペットボトルの搬出量は、前年度比で45.28トン、約4.5%の増となっておりますが、これは先ほど申し上げました、この夏の暑さが影響しているものと考えています。さらに左から5つ目のB鉄につきましては、前年度比で73.57トン、約10.7%の増となっております。このB鉄は、粗大ごみからとれる鉄であります。先ほど申し上げましたとおり、調布市の粗大ごみの搬入量が増加した結果であると思えます。

次に、下のグラフをごらんください。逆有償の資源物搬出及び熱回収搬出についてご報告いたします。下のグラフの右に記載のとおり、搬出量の合計は5,626.99トンとなり、前年度比で28.88トン、約0.5%の減となりました。

以上の結果、平成30年度4月から12月までの資源物等の総搬出量は、右下に記載のとおり1万2,850.28トンとなり、前年度比で141.47トン、約1.1%の増となりました。

平成30年度4月から12月までのごみ処理実績の報告は以上でございます。

【 会 長 】

ただいまの説明で、ご質問がございましたらお願いいたします。

特にないようでしたら、次の項目、環境測定結果について、B委員のほうからお願いします。

【 B 委 員 】

それでは18ページ、19ページをおあけくださいますでしょうか。環境測定結果でございます。前回、10月22日に開催されまして、そちらの報告以降のものということでございます。

まず、上の表を見ていただけますでしょうか。先ほどお話がありましたように、10月、12月に法定点検がございまして、10月につきましては1号炉、12月につきましては1号炉、2号炉が停止いたしました。

続きまして2番目の表ですが、こちらは10月の排ガスの測定結果でございまして、ばいじんにつきましては $0.001\text{ g/m}^3\text{N}$ 未満、硫黄酸化物は 0.8 ppm が最高値でございまして、塩化水素につきましても 0.8 ppm が最高値でございまして、それから窒素酸化物につきましては、 34 ppm が最高値でございました。鉛につきましては $0.004\text{ mg/m}^3\text{N}$ 未満でございまして、カドミウムにつきましても $0.004\text{ mg/m}^3\text{N}$ 未満、亜鉛につきましては $0.005\text{ mg/m}^3\text{N}$ 、水銀につきましては $0.00013\text{ mg/m}^3\text{N}$ でございました。一酸化炭素につきましては 9 ppm でございまして、ダイオキシンにつきましては、11月の 0.000000081 が最高値でございました。

続きまして騒音・振動・臭気・排水の測定でございまして、こちらは10月以降の報告となります。1月に測定しているものもございまして、まだ結果は出ておりません。ただ、前回のご報告の中で、11月に臭気指数の測定をすることになっておりましたが、こちらは既に7月にやっております。これは今年度、環境影響評価の事後調査がございましたので、7月にあらかじめ調査を行ったものでございます。

続きまして、周辺大気の測定でございまして、こちらにつきましても10月以降ということになりますけれども、今のところ測定結果が出ているものはございません。

一番最後の段になりますけれども、放射能に関する測定でございまして、焼却灰につきましては、10月以降の測定になりますけれども、不検出でございました。飛灰につきましては 90 Bq/kg が最高値でございました。排ガスにつきましては、1号炉、2号炉、それから排水につきましても不検出という結果でございました。

それから、一番下の空間放射線量率につきましては、例えば11月の下から2番目の、大型バス駐車場の第1回、地面から 5 cm と 1 m の高さで測っておりますが、両方とも $0.08\mu\text{ Sv/h}$ という数値がございまして、これが最高値でございました。

次のページは、ばいじん等の測定結果をグラフにしたものでございまして、後ほどごらんいただければと思います。全体として、例えば昨年度と比べましても大きな違いはございませんでしたし、それぞれの規制値を超えるものはございませんでした。

私からは以上でございまして。

【 会 長 】

ただいまの説明で、ご質問、確認、ございましたらお願いいたします。特にならなければ、次に報告事項3、ふじみまつりの報告について、C委員からお願いいたします。

【 C 委 員 】

それでは私から、ふじみまつりについて簡単にご報告させていただきます。資料の22ページをごらんいただけますでしょうか。

11月25日、日曜日、今回も秋晴れの穏やかな陽気に恵まれまして、第6回目となるふじみまつりを開催することができました。地元協議会の委員の皆様を中心とした実行委員会におきましては、来場者の皆様に楽しんでいただき、ふじみ衛生組合を身近で親しまれる施設とするため、お祭の充実を図った結果、過去最高となります3,026人の皆様にご来場いただきました。

22ページ、23ページに記載のとおり、30の協力団体と学生ボランティアの参加がありまして、無事故で盛況のうちに実施することができました。24ページ以降の説明につきましては省略させていただきますが、これまでご協力いただきました実行委員の会長、H副会長、K委員、D委員、I委員にこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

私からは以上でございます。

【 会 長 】

ただいまの説明で、何か確認しておきたいことがございましたらお願いいたします。

特になければ、次に進みます。報告事項4、リサイクルセンターのことにつきまして、A委員のほうからお願いいたします。

【 A 委 員 】

それでは、お手元の資料26ページ、資料5をお願いいたします。ふじみ衛生組合リサイクルセンター更新に向けた課題についてご報告いたします。

昨年開催されました第53回地元協議会におきまして、本市では一番左側の列に記載の現在の施設状況についてご説明させていただいておりますが、時間が経過しておりますので、再度簡単にご説明させていただきます。

リサイクルセンターは、A案の図で示している敷地のうち右半分に位置し、不燃ごみの中間処理を行っています。A案の図の赤色の建物が中央棟でございます。中央棟は、プラスチックの貯留並びに不燃ごみ及び瓶、缶のごみの中間処理を行っています。中央棟の上に斜線が引かれている建物が北棟でございます。北棟ではペットボトルの貯留及びペットボトルのごみの中間処理を行っております。中央棟の右に斜線が引かれている建物が東棟です。東棟では不燃ごみの貯留をしています。この3つの建物をもってリサイクルセンターを構成しております。

次に、ふじみ衛生組合リサイクルセンターの更新が必要な理由について、一番左の列に7点記載されていますが、主なものについてご説明いたします。

第1に、リサイクルセンターは中央棟が平成6年12月に竣工しましたので、竣工後24年が経過しており、施設の老朽化が進んでいることです。

第2に、容器包装リサイクル法施行前に竣工した施設でありますことから、プラスチックにおいて、同法の要求する水準のごみの品質を保つことが困難な施設であることです。

第3に、不燃ごみやプラスチックのごみを処理している中央棟に貯留槽がなく、中央棟にごみをためておくことができないことから、機器の故障が発生した場合の対応が困難なことであります。

第4に、施設に見学者対応のスペースがないことから、社会科見学の小学生をはじめ、市民の皆様にも不燃ごみの中間処理を実際に見ていただくことができないことです。

続きまして、青い矢印の右側にA、B、C案と記載されていますが、リサイクルセンターの更新案についてご報告させていただきます。まず、A案は赤色の中央棟の既存建屋を利用して、内部の設備を更新する案です。この案では、北棟及び東棟でごみの処理の一部を行いつつ、中央棟の設備の更新を行います。次にB案ですが、中央棟のみを更新する案でございます。A案との違いは、中央棟の建屋も更新する点であります。最後にC案ですが、リサイクルセンターの3施設全てを更新する案でございます。A案、B案との違いは、北棟及び東棟も含めて3施設全ての施設を更新することであり、広い面積での建て替えとなります。

次に、それぞれの案の課題をご説明いたします。まずA案です。A案は、中央棟の既存建屋を利用して施設を更新する案でございますが、建屋は更新せず、内部の設備を更新しますので、設備の更新後の近い将来に、建屋の更新が再度必要になります。なお、機器重量の増加により、既存建屋の補強や改修は必要となります。ごみの貯留の面では、中央棟に貯留槽を設置することができず、プラスチックの必要貯留量の保管場所の確保が困難です。ごみ処理の面では、プラスチックの処理について2ラインしか設置できないため、処理量を増やすこと及び品質の向上を図ることが困難です。環境面では、騒音、振動及び臭気について、建屋を建て替える場合より効果は小さいと思われれます。附属施設の面では、見学コースや持ち込みスペースの確保が困難です。

次にB案です。B案は、赤色の中央棟のみを更新する案です。この案では、中央棟に貯留槽を設けてプラスチックの必要貯留量の保管場所を確保することが可能となります。また、工事期間中も、北棟及び東棟において、一部ごみの処理が可能でございます。

最後にC案です。C案は、北棟及び東棟を含めたリサイクルセンターの3施設全てを更新する案でございます。C案では、新施設の面積を広くとることが可能です。一方、工事期間中に北棟及び東棟を使用することができず、全てのごみ品目を外部で処理することが必要となります。なお、いずれの案におきましても、ごみの品目数の違いはありますが、ふじみ衛生組合以外の施設へのごみの処理の委託が必要となります。

以上申し上げましたように、リサイクルセンターの更新につきましては、解決すべき課題が山積しております。今後とも地元協議会の皆様にも課題についてご報告させていただきながら、三鷹市及び調布市とともに検討を進めてまいりたいと考えております。

リサイクルセンターの更新に向けた課題についてのご報告は以上でございます。

【 会 長 】

わかりました。これについてご質問がありましたらお願いいたします。

【 D 委 員 】

A案はちょっと問題外だと思うんですが、B案で済むならこれにこしたことはないんですけども、さっき言われましたように、でき上がった施設に何らかの制約条件がつくんでしょうか。これによってBをとるかCをとるかになるんだと思うんですが、その辺で何かわかっていることがありましたらお願いします。

【 会 長 】

お願いします。

【 E 副 会 長 】

まず、B案とC案ですけれども、処理能力的には全く同じでございます。ただ、C案のほうが面積が広いので、例えば作業空間を比較的広くとることができて、作業をする方にとってプラスになるというような面、見学者通路を含めた環境学習の機能については、面積が大きい分、有利になるというふうに考えているところでございます。

また、B案は東棟と北棟が残りますので、ペットボトル等の一部品目について、工事期間中もふじみ衛生組合での処理が可能でございます。一方、C案につきましては北棟も東棟も潰してしまいますので、全ての品目について外部委託となりますので、工事期間中のごみ処理経費という点ではC案のほうがかかるというふうに考えております。

【 会 長 】

D委員、よろしいですか。

【 D 委 員 】

はい。

【 会 長 】

多分、アウトラインの説明なので、もう少し中身の数値的なものとか、モデルが見えてくると意見も出てくるんじゃないかと思うんですが。

お願いします。

【 E 副 会 長 】

数値的なものにつきましては、3月、次回の地元協議会において概略をご説明したいというふうに、今検討しているところでございます。

【 会 長 】

今日のところは、A、B、C案があるということの理解でとどめておいて、ここのひもづけというんでしょうか、中身のところについては次のときに、もう少し我々に想定できるような数値を出してもらって、それで考えるということになるかと思えます。よろしいですか。

【 D 委 員 】

はい。

【 F 委員 】

ちょっと早まった申し上げ方になると思いますけど、会長が言われました予算面の審議ですね、それから改造といいますか、これをやるに当たっての裏づけですか、議会との折衝とか、いろんな問題があると思うんですけど、その辺はこれからなんでしょう。それとも既存の何か方針みたいなものがありまして、それに則って進めるのかどうか。その点だけお伺いしたいと思います。

以上です。

【 会 長 】

お願いします。

【 E 副会長 】

まず、経費的なものですが、こういった大きな施設については、国の交付金を受けてやるようになりますので、今後、国のほうにも具体的な計画ができた段階で計画をお示しして、交付金をいただくということが1つございます。それともう一つは、現金で一括して払うわけではありません。工事代金は、やはり分割で払っていくようになりますので、そういった点では借金、起債をしなければいけませんので、そういった手続も必要になってまいります。それから、これはふじみ衛生組合の中での決まりごとなんですけど、1億5,000万円以上の工事については議会の議決事項となっておりますので、契約の前の段階で議会の議決をいただくという手続が必要となってまいります。

以上でございます。

【 会 長 】

よろしいですか。

ほかの方。

多分、次のところではもうちょっと、皆さんに具体的にお考えいただくことが可能になるんじゃないかと思います。今日のところは一応このような、A案とB案とC案、それぞれ性格の違うやり方があるというところで、お考えをとめておいてください。次回のときに内容にひもづいたデータを極力出していただいて、その上でまた皆さんと一緒に考えたいと思います。

それではこの項目を終わります。ほかになれば報告事項5、小金井市の広域支援依頼につきまして、C委員からお願いいたします。

【 C 委員 】

それでは私から、小金井市の可燃ごみ処理支援について報告させていただきます。資料の28ページをごらんいただけますでしょうか。

ふじみ衛生組合では、地元の皆様のご理解をいただきまして、平成29年4月から多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱に基づきまして、小金井市の可燃ごみを受け入れております。当初の計画どおり、来年度が受け入れの最終年度となりまして、この文書で改めて小金井市から、来年度分の

依頼があったものでございます。前年度、今年度につきましては、年間3,500トンを上限に受け入れを行ってきましたが、小金井市が参加いたします浅川清流環境組合の焼却施設が、今年の12月ごろ試運転を開始いたしますことから、来年度につきましては、1,000トン程度受け入れが少なくなる見込みでございます。引き続き皆様のご理解を賜りますようお願いいたします。

私からは以上でございます。

【 会 長 】

ただいまの報告で、ご質問がありましたらお願いします。

【 F 委 員 】

細かい点ですけれども、減少になると、それに基づく契約更新というのがあり得るかどうか、そこら辺だけお願いします。

【 E 副 会 長 】

小金井市との契約につきましては、単年度契約ということで、毎年契約をしております。したがって、31年度分についてはこれから契約ということになるわけですけれども、その中で今までは上限3,500トンということでしたが、先ほどC委員のほうからお話がございましたとおり、31年度については量が減るということでございます。

【 会 長 】

よろしいでしょうか。

ほかにご質問はないですか。

なければ次の項目にいきます。施設見学候補地について、事務局からご説明、よろしいですか。お願いします。

【 事 務 局 】

29ページをごらんください。例年、6月に施設見学会を実施しております。

1月、2月の雪を避けて、なおかつ5月の連休明けでややバス借上料が下がることを期待して、6月に実施しております。難点は、梅雨の時期なので、雨の可能性のあることです。

今回は案を2つ用意させていただいております。

第1案が甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合という、名前のとおり山梨の甲府近辺の施設でございます。資料については、パンフレットとホームページから作成したものですので、直接先方から聞き取るとはまだやっておりません。5番の「エネルギー棟」というところをごらんいただければと思うんですが、処理能力が123トン処理できる炉が3つあり1日当たり369トンです。ふじみ衛生組合は、144トンの炉が2つで1日当たり288トンです。大きな違いが、ふじみはストーカ炉という方式ですが、こちらはガス化熔融炉という、違う方式をとっております。

リサイクル棟の処理能力については、ごらんのとおりの数字ですが、ふじみ衛生組合とはちょっと出し方が違うので比較が難しいのですが、破砕だけ申し上げれば5時間で3.0トン、こちらは1日当たり36トンと、

大分違いがあります。処理対象施設は、粗大ごみまで含めてほぼ全部やっております。

各棟の役割については後ほどお読みいただくとして、次の30ページから31ページにかけて、施設の概要を掲載しております。ごらんのような設備があるということです。31ページ右下の人口・世帯数等ですが、甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合のほうは4市で構成している施設でございます。人口は4市併せて32万5,000人ほど、それから世帯数が15万世帯弱です。それと比較しましてふじみ衛生組合は、三鷹市・調布市を併せて人口は42万人強、世帯は21万世帯強です。大きな違いは面積です。甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合の区域は1,000平方キロに近い面積でございます。ふじみ衛生組合の区域は38平方キロという面積でございます。

次に32ページ、王禅寺処理センターでございます。これは川崎市の施設でございます。真ん中のちょっと下、2(1)の焼却施設の⑤でございますが、ふじみと同じストーカ炉でございます。1日当たり450トンということです。1基当たり150トンです。ふじみ衛生組合は1基あたり144トンですから近い数字ですが、3炉あるということでふじみ衛生組合と比べ、処理能力が大分高くなっていると思います。

資源化処理物の処理能力でございますが、先ほど申し上げたこちらと比較の仕方が、表示されている処理能力の表示がちょっと違うものですから、単純には比較できないんですが、空き缶、空き瓶で合わせて5時間当たり45トンあるわけですけれども、ふじみのほうは5時間当たり2.4トンということです。ペットボトルについては5時間当たり12.5トンですが、ふじみは7.5トンですので、約倍近く処理をしていると表示されております。

施設の設備等については33ページから39ページをごらんいただければと思います。40ページに人口等の記載がございます。川崎市単体ですので、表題は「自治体」というふうになって、甲府・峡東地域組合とふじみ衛生組合は「組織市」となっています。これは複数の自治体で一部事務組合を組織しているため、「自治体」と「組織市」というふうに使いつけております。人口については川崎は151万人強です。ふじみ衛生組合は、先ほど申し上げたとおり42万人強。世帯数は73万世帯弱に対しまして21万世帯強、大分差がございます。ただし、川崎もこの王禅寺処理センター1つだけで処理しているわけではなくて、ちょっと戻っていただくようになりますが、32ページにあるように、焼却施設だけで4つ、資源化処理施設も4つ、さらに粗大ごみ処理施設がございます。やはり大きい自治体でございますので、分散して処理をしているということになるかと思っております。

41ページ、42ページにふじみ衛生組合の処理能力を記載しておりますので、それぞれごらんいただければと思います。

以上でございます。

【 会 長 】

わかりました。

今説明された内容で、何か事前に聞いておきたいことがございましたら手を挙げてください。

【H 副会長】

済みません、どっちに行くにしても焼却施設とリサイクル施設、両方を見るということですか。

【事務局】

両方を見る予定です。

【H 副会長】

わかりました。

【会長】

ほかの方、よろしいですか。

【E 副会長】

補足になりますけれども、甲府・峡東地域に行く場合にはやはり距離が長いということで、1日がかかりになってしまうと思います。川崎であれば距離は近いので、半日で行けるというふうに思っています。

以上です。

【会長】

今の一言は、結構大きいのかなと思います。

今、事務局長からも説明がございましたが、いずれかに決める、今日決まれば今日決めたいと思うんですけれども、川崎のほうがいいか、山梨県のほうがよろしいかですね。もし決まらなければ、次回の3月のときでも結構ですが、多分、今月が来月になっても特段、状況が変わるわけではないと思うので、決められるなら今日決めてしまって、事務局にそれだけの準備期間を設けさせたほうがいいんじゃないかなと思いますので、決めたいと思います。

私が言っちゃっていいのかな。事務局に、もし決めるなら。

【事務局】

決めていただければ、さらに調べて準備を進めていきたいとは思っております。

【会長】

3月のほうがいいの。今決めてもあまり意味はないの。

【事務局】

正直申し上げますと、先方の受け入れが年度が、改まってからになることが多いと思います。以前、見学先に早目に当たってはみたんですけれども、やはり4月以降に受け付けることになると言われてしまった例もあります。ですから、3月であっても今回であっても、そんなに差は出ないかなとは思っております。

以上です。

【会長】

じゃ、3月にもう一度諮りたいというふうに思います。一応、予定日は

6月ということで、見学先と調整をしてもらいますけれども、実施日については事務局のほうに、先方との交渉もあるかと思しますので、一任させていただいて、決まったらなるべく速やかに皆さんのほうにお知らせするという事です。

【 会 長 】

大体、今考えている中で中旬か下旬か初旬か、6月のいつごろを考えていますか。

【 会 長 】

話、できますか。

【 事 務 局 】

6月ですと下旬に近い中旬ぐらいかと思えます。というのは、先ほどの繰り返しとなりますが、6月の前半は、5月の連休に影響されバス借り上げ料が高めとなり、後ろに持っていき過ぎますと、夏休みの時期に影響され、上がってくるそうです。ですから、費用を効率よく使えばありがたいかなと考えております。

ただ、見学先の都合もありますので、必ずしもこちらの希望どおりにはなりませんが、一応、現在のところ中旬から下旬にかけてという、曖昧な言い方になってしまいます。

以上です。

【 会 長 】

そういう事情がありますので、了解をお願いいたします。最適なところに提案を受けたいと思しますので、よろしくをお願いいたします。

それではこの項目は以上で終わりということで、最後にその他ということで、次回の日程というところなんです、日程の前に私から提案がありますので、説明をさせていただきたいと思えます。

先ほど机の上にお配りしてございます「クリーンプラザふじみ両市民交流を更に進める為の企画提案」という1枚をごらんいただきたいと思えます。ふじみまつりのほうも昨年、6回目を実施して、3,000人の大台を超えることができました。6回やってようやく3,000人というところまでたどり着いてきました。初回のときに、何人来ていただけるんだろうということで、そのときは500人だろうか、1,000人だろうか、幾らものを用意すればいいだろうか。それから参加していただく方々にも、幾ら来る予定だから幾らぐらいのものを用意してくださいと言ったらいいだろうかというところから始まった、ふじみまつりでございました。それが6回目を迎えて、皆さんの協力のたまものだと思うんですね、3,000人を越えた。その背景には、三鷹市の駅伝同時開催ということもあって、客の流れがよくなったということも当然あるかと思えます。

このイベントは三鷹、調布両市民が一緒になってやる、いわば広域のイベントであります。俗に言われるところの迷惑施設を何とか必要施設に変えていこうということで、みんなが苦労しながらつくり上げてきたふじみ

まつりです。そこをさらに市民交流中心に進めることはできないだろうか、ふじみまつりは年に1回、11月に向けて春から準備しているんですけども、それをもう少しコンパクトに、ふじみまつりとはまた違った趣向で、両市民が何か交流ができて、市境を挟んで、ふじみまつり会場をステージにもう少し新たな交流を進めるということで、フリーマーケットということを考えました。市民中心でやって、交流を通して環境とごみ問題を地域に啓発していくという機会が1つあってもよろしいんじゃないかなというので、この案になっております。

日程としては7月の日曜日、時間枠としてはふじみまつり同等、10時ぐらいから始めて2時半ぐらいまでの規模でいかがかなと。会場はこの駐車場で、主催はこの地元協議会の中にフリーマーケット実行委員会を新たに一つつくって、そこが皆さんの協力を得ながら進めていくという形。協力としては、もちろんのことですが三鷹市、調布市とふじみ衛生組合に後援、協賛の依頼をするということ。内容といたしましては、三鷹、調布両市民のバザー、フリーマーケットを30から40団体程度募集してできないだろうか。参加費は、ざっと調べてみたんですが500円程度かなと思ひまして、500円と書きました。駐車場を使い、テントは設営しません。ふじみまつりの場合はテント設営をしましたがけれども、ここではテント設営はしないと。ごみ焼却施設でございますので、クリーンプラザふじみの施設見学も同時に開催する。それと、今両市で進めております都市鉱山及び水銀回収プロジェクトの啓発もあわせて行うという形をやりたいなと考えています。

これを実行するに当たって課題というか、決めていかなければいけないことの一つ最初は、まず地元協議会から実行委員を募集して、さらにその実行委員が関係者、協力者を募っていくという形をできればいいかなと考えております。実行委員につきましては、規模的にも10名程度を考えておりますが、ふじみまつりもそうですが、女性委員の方がちょっと少ないんですね。フリーマーケットにつきましては女性を中心にとというか、女性的な視点で運営したいなという思いもありますので、私としては実行委員、女性の方は今、この地元協議会では4名おられます。4名の方にはぜひとも中心になってやっていただきたいのと、男性の方も4名ほど、都合ここで8名で、あと衛生組合のほうから数名お願いして、そのような部隊で実行委員を構成できるといいんじゃないかなと思います。

フリーマーケットの参加者、団体募集につきましては、両市の環境部を経由して協力依頼をかけたいと思っております。イベント周知につきましては、ふじみまつりと同様に市報等で掲載して周知を行うということ。それと、お金を特段かけるつもりは、予算的な問題もありますけれども、フリーマーケットをやっていることを告知する意味でも、のぼりは立てたいなというふうに思っております、のぼりの準備ですね。それからお昼を挟んでしまいますので、ふじみまつりは調理をするものを出したんですけども、簡便に行うということで、完成品、いわゆるガスを使わない食べ

物の販売があったほうがいいなということで、おにぎりや容器入りの飲料を対象範囲にすれば、保健所への届けも簡便に済むのではないか、あるいはしなくていいんじゃないかなというふうに思ったので、このような案を考えました。非常に粗っぽい案でございますけれども、間に合えば31年度の7月にこのようなことを進めたい、実施したいと。7月にフリーマーケット、11月にふじみまつりということでの転がしで、両市の交流が市民レベルでどんどん進むような形にさらにしていきたいなと考えているところでございます。

まず、この1番目のフリーマーケットの計画について、内容を説明させていただきました。これについて何かご質問、ご意見があれば。あるいは進捗状況についてこうしたい、ああしたいということがあればご意見いただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

【 G 委員 】

フリーマーケットということは、フリマ参加費500円をいただいてフリーマーケットの場を提供するという形ですよね。参加する方たちというのは一個人なんですか。それとも何かの団体なんですか。

【 会長 】

特段そこは決めていませんけど……。

【 G 委員 】

三鷹市、調布市で、ふじみ衛生組合の敷地内。これは両市の施設ですよ。そこで例えば個人が、フリーマーケットやるんだって、うち、やりたいな、参加しよう、500円払って参加できる。うちに要らなくなったものとか、これを売りたいなと思うものを持ってくる。そしてそれに個人で、例えばこれは10円とかと値段をつける。10円で売れました。その売れた金額というのは個人の方が持っていかれるわけですよ。そういうこと、一個人の方の利益になることというのは、市の条件、規則の中でそれは大目に見てもらえるものなのか、そうではないのか。まずそこからハードル、そこをきちんと乗り越えていかないと、とてもいい案だとは思いますが、進めていくのはどうなのかなと思うんですが、どうでしょうか。

【 会長 】

ちょっと予想していなかった質問なんですが、でも、この類の話はほかでもありますよね。

【 H 副会長 】

私、経験がありまして、三鷹の連雀コミュニティ・センターなんですけれども、その中を利用してやったことがあるんです。やはり500円、参加費をいただいてという形で、ただ、商売でない一般市民の方に参加していただいて、それで売上は持って帰っていただいているというやり方をしました。これとまるっきり同じ形なので、問題はないという形になると思います。

【 G 委員 】

わかりました。

【 会 長 】

基礎的なご質問だったので、私もちょっと、そういう質問もあるのかというふうに今、思いました。特に団体、個人というところまでは考えていなかったですけども、そこはどちらでもいいのかなと私は思っていますが、質問の趣旨を私なりに理解するとしたら、いわゆる100%営利でやられるんじゃないくて、ベースにはボランティアじゃないけれども、いわゆる株式会社が出して売るといったことであってはいけないと思いますので、そこは何かしなきゃいけないのかなと。商店を出すような形ではだめということですね。

あともう一つは、それをやっちゃったら多分だめかもしれませんが、販売をやっていた場合には、社会福祉団体等へ売上金の何%かを寄附するというのがありますよね。全部じゃなくても、売上金の幾らかを寄附して公共的なところに対しても貢献すると。残った分はその団体なり、お店を出したところが持ち帰る。そこは今後、もうちょっと形づくりをする上で、規約じゃないけど決めていかなければいけないかなと思います。

【 I 委員 】

初めての発言ですけど、これは会長が提案されたということは、あくまでも調布市と三鷹市のコミュニケーション、利益じゃなくして、ふじみまつりと同じような状態で、コミュニケーションをとる機会をつくっていこうということだと思うんです。そうすると、我々北ノ台まちづくりネットワークは、朝市とか云々は、この周辺が農家で、みんな野菜とか、一時ふじみまつりも、野菜はというお客さんの要望があったことも聞いたんですよ。そういう面で我々としては実績を持っているわけなんですよ。そしてそういう状態で、あくまでも社協と一緒にやって、利益じゃなくてコミュニケーションと同時に皆さんが安い、新鮮な野菜を買えるという状態のコミュニケーションで、その利益は我々としては社会福祉に寄附しているんですよ、J委員。

【 J 委員 】

そうですね。

【 I 委員 】

そういうことからして、我々、今言ったようにJ委員が中心にやっておられるんですけど、実績がありますから、そういう点ではいいコミュニケーションの場ができると思うんです。

以上です。

【 会 長 】

わかりました。どこまでどういう範囲で広げるかというところまで詰められた話じゃないので、今は年に2回、この場所を利用して、両市で集まってその中で、市単位ではなくて両市がごちゃ混ぜになって交流ができる

場を考えたいなということですから、今ご質問いただいたことも含めて、もう少し肉づけしなきゃいけないのかなというふうに思います。

そういうことで、私としては実行委員になっていただく方を早く決めながら、そこで検討して行って、どんどん詰まって行って骨子が固まるような方向へ持っていきたいなと。最悪の場合、間に合わなければ、天候等の問題もありますけど、7月というのは非常に微妙な時期なのかもしれませんが、そこで準備が整いそうだとということになれば今年開催、もう少しいろいろ調整しなければいけないとなったら、無理をせずもう1年繰り越すということ。私としては、ふじみまつり以外にももう1テーブルつくりたいと。これは、先ほどふじみまつりが3,000人の大台に乗ったというところで、よくぞ3,000人まで乗ってきたなというところもありますので、さらにこれを発展させる意味でも、もう1テーブルあっても、多分こなせるんじゃないかなと思っております。

そのようなことを考えておりますというのが、私の提案した一番のものとところです。

K委員、一言お願いします。

【 K 委員 】

やることには賛成なんですけど、7月というのは暑い時期ですので、テントがないというのはちょっとどうかと。私の考えだと、やってもいいと思いますけれども、うちもこの3月に牟礼のコミュニティ・センターでリサイクル・ショップをやる予定なんですけど、それは体育館の中で、一口500円の形式でやります。

【 会 長 】

テントがちょっと問題だということですね。テントを除外したのは経済的な理由で、除外して素案を考えてしまったというところは確かにあります。

【 K 委員 】

テントがなくても、場所を考えればいいかな。樹木が茂ってきていますよね。高齢の方もいるので、日焼けしないように。そういうところを利用していくようにすればいいですね。

【 会 長 】

わかりました。そういうことも含めて、これは素案のほんとうに骨組みのところを考えましたので、これをさらにもう少し、実行できるような内容にするためにも、実行委員が集まれる、今のところ準備委員でもいいですけども、そういう形でもう少し骨子が固まっていくような方向に持っていけば一番いいなというふうに思うので、あまり無理をはいけないんだけど、準備ができるなら、できるところから準備を固めていきたいなと思っております。

ほかの方、ご意見があったらお願いしたいと思うんですが。

それでは、ご意見もほかにならないようですので、ここのところで時間をと

ってもいけませんので、この件についてもう少し協議ができるような方向で、委員を、実行委員が無理であればもうちょっと検討する人たちが集まって、骨子を具体的に決められるような方向に持っていきたいので、準備委員ということでも結構です、少しなっただいて、その可能性について進めるような方向に持っていきたいなと思います。先ほど言いましたように、女性の方にもっと中心になってもらいたいなという思いがあるので、私としては4人の女性の方にまずは入っていただきたいなと。それと、初めてのことで、地元協議会の会長とE副会長もそこに入って、あと男性の方が2名入って、4人ぐらいでもむようなことにしていきたいと、勝手に思っているんですけども、男性の方、あと2名、それと女性の方はちょっと強制的で、私はどうしてもだめと言われちゃうと、私も案を引っ込めるしかなくなるんですけど。

L委員、どうでしょうか。

【 L 委員 】

あまり気が進まないです。この計画そのものがあまりはっきりわからないのと、フリーマーケットっていろんなところでやっているんですけども、そうじゃない、何かほかにみんなが集まって、まとまっていく形にするんだったら、もっとほかのやり方があるんじゃないかという気はするんですけど。

【 会 長 】

いわゆる二番煎じじゃなくて、もうちょっと独自色をつくれということですかね。

今のL委員のお話も確かに、ちょっと安易な方法でフリーマーケットと、場所が広いということと、平べったいというところを考えてしまったんですけども、市民交流をさらに一歩進めるというところで、私としては1つ、突然だったと思いますが、フリーマーケットということを考えてみました。どこでもやっているフリーマーケットではありますけれども、ふじみ流の、ふじみの施設を生かせるイベントということを、本来は考えたほうがいだろうとは、確かに思いますけれども。

じゃ、この点についてはもうちょっと時間をかけますか。今日おられない委員の方もおられますので、このことにつきましては、来月また地元協議会がございますので、もう少しこちらのほうで太らせてみて、またもう一度お話ができるような機会をつくりたいと思います。

それでは2番目にいきます。ふじみ衛生組合両市市民交流委員の創設ということで、ちょっと重複するかもしれませんが、6回のふじみまつりを通じて、市民交流の実際をわかりやすく示している例として、囲碁の親善試合があります。三鷹と調布で親善試合を毎回、ふじみまつりの中でやっております。6回目のときは大変盛況だったということで、囲碁の親善試合が市民交流を支えてきた、ふじみまつりの中で支えてきたという関係にあります。これをさらに多角的に推し進めるべく、地元協議会の中に交流

委員の創設を行って、今は囲碁の親善試合で交流をやっているんですけども、これを更にもう少し広めていく、いろいろな団体等に広げられるような、いわばロビー活動じゃないですけども、地元委員の中に交流委員というものをつくって進めていきたいなと思っています。

囲碁交流親善試合がここまで盛況になってきたのは、三鷹側のN委員と、ここの委員でもありますM委員が中心になって行ってきたためです。非常に盛況になっているということで、私としてはこの2名の方に交流委員になっていただいて、その方が多方面に動きながら、ふじみまつり、及びふじみまつりでもまた違う団体と交流が進むような形で、場がここに提供できるような動きにしてもらいたいような形で、この委員の方には活動して、我々のふじみまつりを側面的に支えてもらおうという形で考えて、この案を提案するものです。

併せて、今までは優勝したら、勝ったほうに優勝カップがあって、争奪戦のような形にしていたんですね。優勝したカップというのは、勝ったほうのご自宅、自分のところへ持って帰っていたということがありまして、市民交流の一つのあかしですので、自宅へ持って帰って1年間眠っているのは非常にもったいないなと。せっかくだからふじみ衛生組合の中の目立つところに優勝カップをパネルとともに飾って、啓発に努めてもいいんじゃないかと思って、あわせてそのことを皆さんにお話しして、優勝カップの掲示と啓発、それとそれを引っぱってきていただいたM委員とN委員に、市民交流の先頭を切ってもらいたいと思いますか、ふじみ衛生組合地元協議会の中で担ってもらいたいということで、この中からそういう形で交流委員に任命、お願いするという形にしていきたいなと。

ボランティアで一生懸命やってもらいたいというだけの話なんですけれども、いろいろ知見を持っておられる2人の方ですので、それぞれの市において動いていただけるんじゃないかなと思う次第です。そのことを皆さんにご承認いただきたいなと思います。いかがでしょうか。今日はM委員が来ていないので、一言、ここでもらえないのは非常に残念なんですけれども。

【 I 委員 】

いいんじゃないですか。私は大いに賛成です。

(「異議なし」の声あり)

【 会 長 】

よろしいですか。(拍手)

これは委嘱状も何もないんですけど、M委員が今日お見えになっていないので、また後日、事務局に来ていただいて話をして、優勝カップをどこにどう飾るか、それからパネルをどうつくるかということについても、準備を進めていきたいと思います。そうしたら皆さんが、こんなことをやっていたんだということと、両市の市民がここまでふじみまつりを支えているんだということがわかっていただけるようなパネルにしたいなと。見学

に来た方が見られるような位置に置きたいというふうに思っております。

交流委員につきましてはN委員とM委員になっていただくこと、それから優勝カップについては衛生組合のしかるべきところに展示するということにしたいと思います。

じゃ、一応、「三調めのエントツくん」の提案については、1番目のほうにつきましてはもう少し検討して、次の3月のときにもう少し肉づけできるようにしてお話ししたいと思います。2番目のほうの交流委員につきましては、ご承認いただいた、本人も多分、ご自宅のほうで納得していると思いますので、N委員には空気で多分伝わっていると思いますので、そういうことをご了解ください。私のほうからの提案については、ちょっと長くなりましたが、そういうことです。

次の日程ですが、一応3月11日で決定しておりますが、よろしいですね。念押しです。

11日、月曜日です。同じ時間、6時半です。

最後になります。その他の最後のその他です。何かございましたら。

ないようでしたら、これで本日の地元協議会を閉会したいと思います。ありがとうございました。お疲れさまでした。